



ルールの意味を

ワールドカップでの日本サポーターのゴミ拾いの輪が、他の国のサポーターにも広がりつつあるとの報道を耳にするようになりました。みんなが気持ちよく過ごせるプラスαがどんどん広がっていくといいですね。

さて、ルールの話に戻ります。自転車に乗るときはヘルメットを着用するのがルールです。では、なぜそのように定めているのでしょうか。ひとつには、**自分の命を守り、ダメージを軽減する**という事があると思います。実際に事故現場に駆けつけてみると、車のフロントガラスがひび割れて、ヘルメットが当たった場所が大きくへこんでいる状況を見かけます。「ヘルメットをかぶっていてよかったなあ」と強く思います。かぶっていなかったらと思うとぞっとします。ヘルメットをかぶるひとつめの理由は「**自分のため**」という事になります。

では、2つめの理由は何でしょうか。それは「**まわりの人のため**」なのです。事故には様々な原因があり、過失の割合も様々ですが、何よりも事故は加害者も被害者もその家族の人生も

大きく変えてしまいます。事故が起こるのは自分にとっても、相手にとっても不幸であるのは間違いありません。

以前、私は中学校に勤務していました。中学校には自転車通学がありますから、登下校中に自転車と車の事故が起きることもありました。ある時、自転車と衝突事故を起こした軽乗用車の運転手の方が「ヘルメットをかぶってもらっていてよかった」と言われたのを憶えています。運転手さんは生徒のことを心配しておっしゃったのだと思いますが、生徒がヘルメットをかぶって軽傷で済んだことで、ヘルメットは生徒の命はもちろん、生徒の家族、運転手さんやその家族の生活や人生も守る事になったからです。

事故は無い方がよいということに間違いはありません。しかし、万が一に備えてヘルメットをかぶるのは「自分のため」「まわりの人のため」なのです。ヘルメットは相手を思いやる気持ちでもあります。自分の命の事だからヘルメットはどうしてもよいというのは、このルールの意味を理解できていないということなのです。

【手にとって】

図書館の貸出冊数を集計するイベントが始まって3週間が終わりました。どのクラスのこどもたちも意識して図書館を利用し、たくさんの本を借り出しています。みんながたくさん本を次々と手にとって、様々なジャンルの様々な本に目を通します。このイベントを通じて、こどもたち一人ひとりが深く触れてみたいと思うジャンルや作品、作家など自分好みの本が見つかっていくといいなあと思います。自分の1冊を見つけるためのイベントもあと1週間、たくさん本に触れ、その中から見つけた自分の一冊をじっくり味わってみる。イベントの後のそんな時間が大切です。こどもたちは自分の1冊を見つけましたでしょうか。